パソコン小話（２８１）

2019/12/７

パソコンの**Ｄ**ドライブを確認する

パソコンでデーターの読み書きを行う駆動装置をドライブと言います。

このドライブには、内蔵ハードディスク、ＤＶＤドライブ、ＵＳＢメモリ、

ＳＤカード、外付けハードディスク等が有ります。

これらのドライブには、Ａ，Ｂ，・・・Ｚ迄のアルファベットが、接続順に

振られています。

Ａ，Ｂは、フロッピィディスク専用、Ｃドライブは内蔵ハードディスク、

Ａ，Ｂ，Ｃ迄は、パソコンに内蔵で決まっています。この後は、接続する

ドライブ（装置）の順番でＤ，Ｅ，Ｆ・・・と振られていきます。

パソコンは、このドライブ文字（Ａ～Ｚ）を目印として、データーの読み書きをしています。

ところで、パソコン内蔵のハードディスクは、１つ（Ｃドライブ）で、Windowsなどのソフトと、個人の作成したファイルが混在しています。

と言う事は、Windowsが不調になると、個人データーも共倒れとなります。

これを防ぐため、内蔵ハードディスクを２つに分けます。

以前のパソコンでは、２つに分けてＣドライブとＤドライブを作っていましたが、最近のパソコンはＤドライブがないパソコンがほとんどです。

これは、ユーザーがＤドライブを使いこなせていないからではないかと思います。

自分のパソコンに、Ｄドライブがあるかどうかを確認しましょう。

あれば、個人データーをＤドライブに保存しましょう。

1．Ｄドライブの有無の確認方法

パソコンに、ＵＳＢメモリや、外付けハードディスク、ＳＤカードなどがつながれていない状態で、ドライブを確認する

**Ｄドライブが有るパソコン**

エクスプローラーの起動　→　表示　→　並べて表示　→ＰＣをクリック　→　（Ｄ）の文字がある



**Ｄドライブが無いパソコン**

　ここがなく、Ｃドライブに続いて、ＤＶＤドライブとかＢＤ－ＲＥドライブ

　となっている。

　Ｄドライブが無いパソコンでは、ハードディスクが1つで、プログラム

とか個人データーが混在して入っている。

２．内蔵ハードディスクを、ＣとＤに分ける

ハードディスクをＣとＤに分けるには、パーテーションを切る操作をしま

すが、難しいので注意が必要です。

Ｄドライブの恩恵は大ですので、小話１５７を参考に、Ｄドライブ作成に

挑戦しましょう。

ただし、これは少々難しく、間違うとパソコンが使えなくなりますので

十分注意が必要です。個人責任でお願いします。

Microsoftか、パソコンメーカーに聞いて操作するのもいいでしょう。

以上